

## 行橋教会、豊津教会のみなさん、 よろしくお願ひします。

### ご挨拶

4月1日付けで行橋教会に赴任したミカエル山元眞神父です。これから、みなさんと一緒に天国への道を歩んでまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。まず、自己紹介をさせていただきます。

1953年(昭和28年)4月10日、新田原で生まれました。もうすぐ49歳になります。テレジア幼稚園(今はもう廃園になっています)に通い、仲津小学校を卒業して福岡の小神学校に入りました。幼稚園の時、グロージャン神父さまからやさしくしていただき、「ああ、こんな神父さまになりたいなあ」と思った

のが、司祭職を目指したきっかけです。小神学校から福岡市内の平尾中学校に通い、高校は泰星高校に行きました。福岡サン・スルピス大神学院で8年間、司祭になる準備をしました。1980年3月20日に新田原教会で叙階され(司祭になり)、最初の赴任地は小神学校でした。一年間、司祭職を目指す中・高生と生活し、翌年6月にローマに行き、教会法を勉強しました。イタリアでは、いろいろな方と出会い、いろいろなことを学ばせていただきました。1986年に帰国し、小倉教会の助任司祭を務めました。小倉教会には幼稚園が二つあるの



で、その副園長の仕事もしました。

1991年から司教館で教区事務局長として働き、小神学校の校長を3年間、そして前任地である二日市教会で1999年から3年間、主任司祭(初めて!)と幼稚園の園長を務めました。前任地では初めての主任司祭でしたので、新司祭のつもりで奉仕させていただきました。

今までの歩みを振り返ってみると、司祭は確かに叙階の秘跡によって司祭になりますが、それで司祭になってしまったのではなく、いろいろな方々や、いろいろな出来事が「司祭を作り上げていく」のだと思います。ですから、みなさん、どうぞ、すばらしい司祭に作り上げてください。お願ひいたします。

そして、司祭は奉仕するためのものです。イエスさまは「私は仕えられるためではなく、仕えるために来た」と言われましたが、その生き方に倣うものです。どうぞ、そんな司祭になれるよう、協力をお願ひいたします。教会はみんなの教会です。洗礼によって神さまからいただいたお恵みをたくさんの方々に伝えて行くことができますように。弱さも欠点もたくさんもった私ですが、どうぞ広い心で受けとめ、いっしょにみ言葉とご聖体に生かされて福音宣教に励んでまいりましょう。

よろしくお願ひいたします。